# SPring-8運転・利用状況

財団法人高輝度光科学研究センター 研究調整部

## ◎平成23年6~7月の運転・利用実績

SPring-8は6月13日から7月8日までセベラルバンチ運転で第3サイクルの運転を行い、7月11日から7月29日までセベラルバンチ運転で第4サイクルの運転を実施した。第3~4サイクルではサーキュレータアーク等による停止があったが、全体としては順調な運転であった。総放射光利用運転時間(ユーザータイム)内での故障等による停止時間(down time)は、第3サイクルは約0.8%、第4サイクルは0.2%であった。

放射光利用実績(いずれも暫定値)については、 実施された共同利用研究の実験数は、第3サイクル は合計290件、利用研究者は1,339名で、専用施設利 用研究の実験数は合計216件、利用研究者は709名で あった。第4サイクルは合計196件、利用研究者は 927名で、専用施設利用研究の実験数は合計165件、 利用研究者は606名であった。

# 1. 装置運転関係

(1) 運転期間

第 3 サイクル  $(6/13 (月) \sim 7/8 (金))$ 第 4 サイクル  $(7/11 (月) \sim 7/29 (金))$ 

(2) 運転時間の内訳

第3サイクル

運転時間総計
 ①装置の調整およびマシンスタディ等
 約48時間
 ②放射光利用運転時間
 約555時間
 ③故障等によるdown time
 総放射光利用運転時間 (ユーザータイム = ② + ③) に対するdown timeの割合
 第4サイクル
 運転時間総計
 約430時間

①装置の調整およびマシンスタディ等 約47時間 ②放射光利用運転時間 約382時間

 ③故障等によるdown time
 約1時間

 総放射光利用運転時間 (ユーザータイム = ②+③)

に対するdown timeの割合

約0.2%

(3) 運転スペック等

第3サイクル(セベラルバンチ運転)

- · 11 bunch train × 29
- · 203 bunches

第4サイクル(セベラルバンチ運転)

- 1/7 filling + 5 bunches
- · 2/29 filling + 26 bunches
- ・入射は電流値優先モード (2~3分毎 (マルチバンチ時) もしくは20~40秒毎 (セベラルバンチ時)) のTop-Upモードで実施。
- ・蓄積電流 8 GeV、~100 mA
- (4) 主なdown timeの原因
  - ・サーキュレータアークによるアボート
  - ・アブソーバ・オープンエラーの対処

## 2. 利用関係

(1) 放射光利用実験期間

第3サイクル (6/14 (火) ~7/8 (金))

第4サイクル (7/12 (火) ~ 7/28 (木))

(2) ビームライン利用状況

稼働ビームライン

専用施設利用研究者数

共用ビームライン	26本
専用ビームライン	17本
理研ビームライン	8本
加速器診断ビームライン	2 本
第3サイクル(暫定値)	
共同利用研究実験数	290件
共同利用研究者数	1,339名
専用施設利用研究実験数	216件
専用施設利用研究者数	709名
第4サイクル(暫定値)	
共同利用研究実験数	196件
共同利用研究者数	927名
専用施設利用研究実験数	165件

606名

### ◎平成23年7~9月の運転実績

SPring-8は7月30日から9月23日まで夏期点検調 整期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の 改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作 業を行った。

## ◎今後の予定

SPring-8は9月24日から10月31日までセベラルバ ンチ運転で第5サイクルの運転を行い、11月1日か ら11月2日の停止をはさみ、11月3日から12月2日 までセベラルバンチ運転で第6サイクルの運転を実 施する。第5~6サイクルの運転・利用実績につい ては次号にて掲載する。

# ◎平成23年度のSPring-8運転計画

SPring-8では2011B期の運転を以下のように計画 している。

### (1) 運転予定表

図1に平成23年度(2011年度)の運転計画を示す。

#### (2) 運転計画の内訳

平成23年度は合計8サイクルの運転を予定してい る。

#### (3) 運転スペック等

各サイクルの詳細な運転スペック(蓄積電流値や バンチ運転、フィリング等)については、利用者の 要望等を踏まえ、検討・調整を行う。決定された運 転スペックについては、速やかにSPring-8のWWW 等で報告する。

